

意識変容・行動変容に関する指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度目標
定期健康診断受診率	96.8%	98.6%	99.7%	100%	100%	100%	100%
要治療／精密検査受診率	52.1%	36.2%	47.3%	49.4%	50.4%	80.9%	80%
特定保健指導実施率(初回面談実施率)			—	34.9%	39.7%	—	45%
ストレスチェック受検率	77.0%	82.1%	88.0%	99.4%	99.9%	99.6%	100%
ストレスチェック医療職との面談率	-	-	—	1.0%	1.3%	1.3%	—
適正体重比率	62.8%	59.4%	56.1%	56.6%	55.9%	57.0%	60.0%
運動習慣比率	17.9%	21.5%	22.5%	24.3%	27.1%	27.9%	30.0%
喫煙者率	26.2%	28.5%	26.6%	22.9%	22.8%	22.9%	20%
がん検診受診率	62.0%	44.0%	35.0%	45.5%	46.8%	58.4%	70%
アブセンティーズム(率)※1			2.1%	2.0%	2.6%	2.5%	2.0%
傷病の休職率			—	—	1.2%	1.1%	—
プレゼンティーズム※2	—	—	—	—	83.1%	83.0%	85%
エンゲージメントスコア※3			23%	33%	30%	26%	50%
女性の健康課題に対する施策の参加状況			—	—	250人	1,007人	—
日本健康マスター検定保有人数			—	1,039人	1,810人	2,318人	2500人
労働災害の発生状況(度数率)※4			0	0	0	0.0900	0
労働災害の発生状況(強度率)※5			0	0	0	0.0017	0

※1. 年度中に一度でも長期欠勤・休職した社員の比率。

※2. SPQ(東大1項目版)を用い、直近4週間の自身の仕事の出来(0~100%)を評価。数値は全体平均値。

2023年度の測定人数：5,157名(出向者等含む) 回答率：100%

※3. エンゲージメントサーバイで「エンゲージメントしている」と回答した実測値。働きやすさ・やりがいでなく、仕事に対する充実度も測定。

2023年度の測定人数：4,893名(出向者等含む) 回答率：93.3%

※4. 度数率=(労働災害による死傷者数÷延べ労働時間数)×1,000,000 で計算。延べ労働時間は実労働時間を使用。

※5. 強度率=(労働損失日数÷延べ労働時間数)×1,000 で計算。

労働損失日数は、死亡・重篤=7,500日、一時労働不能=暦日の休業日数に300/365を乗じた日数。